



古賀市記者懇談会（7月）

令和3年7月28日(水)13時30分～
会場:旧快生館(古賀市薬王寺95)

朝日新聞社、共同通信社、産経新聞社、時事通信社、西日本新聞社、日本経済新聞社、毎日新聞社、読売新聞社
FBS、J:COM、KBC、NHK、RKB、TNC、TVQ(50音順)

①【官民連携】古賀市×西部ガス株式会社

「まちづくりの連携協力に関する基本協定」の締結【P1】

【古賀市役所】（問い合わせは都市整備課古賀駅周辺開発推進室 近藤＝092-942-1268）

古賀市と西部ガス株式会社（代表取締役社長 道永 幸典氏）は、まちづくりに関する情報や経験、技術を相互に共有し、これらに関する事業を連携して推進するための基本協定を令和3年7月28日に締結します。

協定締結により、JR古賀駅周辺の都市的なにぎわいと活力ある中心市街地の形成、また、古賀グリーンパーク周辺の観光や産業振興の拠点機能の充実に関するまちづくりの推進を図ります。

②老舗桐箱メーカー増田桐箱店が端材を活かしたプロダクト

「Haco Toy Osero」を開発～販路拡大と地域貢献によるSDGsへの取り組み～【P2】

【古賀市役所】（問い合わせは商工政策課商業観光係 吉武＝092-942-1176）

福岡県の地域産業資源として指定されている古賀市の「桐製品」を製造している増田桐箱店。新型コロナの影響で「結婚式」「企業の記念式典」などの需要が大きく落ち込んでいることもあり、日常生活に取り入れる桐製品へ大きくシフトしています。

その中でSDGsの取り組みの一環として、通常は廃棄される端材を活かしたボードゲーム「Haco Toy Osero」の開発を行いました。コロナ禍で展示会などの開催が困難なため、クラウドファンディングサイト「Makuake」で発表・販売開始します。

③薬王寺温泉・インキュベーション促進事業【P3】

【古賀市役所】（問い合わせは経営戦略課 大浦＝092-942-1113）

本格的な人口減少やwithコロナ社会の到来に対応するため、インキュベーション（新規創業・新規起業の支援）を促進し、大都市等からの移住定住を促すことにより持続可能な都市の形成を図る必要があります。

テレワークの浸透など働き方に対する人々の考え方の変化を捉え、閉鎖された温泉旅館をリノベーションし、サテライトオフィスやシェアオフィス、コワーキングスペース等として活用し、古賀市への移住・定住・滞在を促す新たな取組を展開します。

■問い合わせ先

古賀市役所経営戦略課 川原、大川＝092-942-1346 ✉pr-koho@city.koga.fukuoka.jp

●今後の記者懇談会の日程（予定）

- ・8月18日（水）13時30分～ 場所：古賀市役所応接室A
- ・9月24日（金）13時30分～ 場所：古賀市役所応接室A